

# 岩手郡医報

題字 高橋 孝



岩手郡医師会  
No.82/2005年9月

### 表紙のことば

－第57回県医師会親睦野球大会（久慈市）での岩手郡医師会選手団－

曇りがちで申し分のない天候と、そこそこの試合内容でしたが良い結果には結び付かなかつた様です。

昨年主催の水沢医師会に続き、今年度主催の久慈医師会も優勝を果たしました。

来年度は、我が岩手郡医師会が主催となります。選手団・役員はもとより、一般会員の皆様の絶大なるご理解とご協力が必要となります。

滝沢村 栃内秀彦



## 「介護保険制度について思うこと」

—主治医の呴き

岩手郡医師会 副会長

西島 康之

介護保険制度が始まってから5年が経過しようとしている。当初よりかかりつけ医・介護認定審査委員として介護保険に携わってきた。そのなかで感じた一端を述べたい。

医療機関（かかりつけ医）、介護施設などとの高齢者情報の共有するシステムの構築強化がいかに重要であるか、ケアマネジャーの都合で利用者のサービスが判定され、決定しているような疑問を多々感じた。そのように感じているのは私一人ではないと思う。特別養護老人ホームと介護老人保健施設と療養型介護施設病院は異なった機能を持っていることを、介護保健に携わっている関係者はよく理解すべきである。

利用者が求めているニーズが何か、また、利用者にとってどんなサービスがベストであるか、「かかりつけ医・ケアマネジャー・相談員」の話し合いの場が必要であり連携を密にすべきと思う。主治医・かかりつけ医の意見書・指示書をケアプラン作成に反映して欲しい。全国において、その連携が、空回りしている現状であると言われている。ケアマネジャーのアンケート調査によると、医師は多忙であり、医師の敷居が高いと言う調査結果も出ている。我々医師も反省すべきである。

このような観点から、厚生労働省は公平・適正で民主的かつ質の高い支援組織（包括支援センター）なるものを創設し、その役割に期待していると考える。

厚生労働省は健康日本21で、生活習慣病対策・介護予防・生きがいづくりの推進対応（健康フロンティア戦略）で平成17年～26年までの10年間で健康寿命を2年程度伸ばすように設定している。そのためにも疾病予防と介護予防に、介護の連携体制づくりが必要であり、より密度の高い予防教室の開催、さらに介護施設との情報の共有など地域の高齢者医療の充実に行政と一体で健康・体力づくりに取り組まなければならない。

以上、介護保険制度についての私の素朴な疑問と感想である。

## 目 次

**巻 頭 言** ..... 副会長 西 島 康 之 ..... 1

### 総会議事録

平成17年度 第1回通常総会議事録 ..... 総務担当理事 篠 村 達 雅 ..... 2  
特別講演『平泉と源義経』 (財)岩手県教育弘済会 理事長 金 野 靜 一 ..... 2  
平成17年度 第1回通常総会挨拶要旨 ..... 会 長 及 川 忠 人 ..... 3

### 総務会報告

平成17年度 第2回総務会 ..... 担当理事 篠 村 達 雅 ..... 4  
平成17年度 第3回総務会 ..... 担当理事 篠 村 達 雅 ..... 4

### 理事会議事録

平成17年度 第2回理事会議事録 ..... 総務担当理事 篠 村 達 雅 ..... 4  
平成17年度 第3回理事会議事録 ..... 総務担当理事 篠 村 達 雅 ..... 5

### 部 会 報 告

広報部会 ..... 担当理事 栄 内 秀 彦 ..... 6  
勤務医部会 ..... 担当理事 高 橋 孝 ..... 6  
学校医部会 ..... 担当理事 上 原 充 郎 ..... 7  
地域医療部会 ..... 担当理事 篠 村 達 雅 ..... 7  
医療保険部会 ..... 担当理事 佐々木 久 夫 ..... 7  
生涯教育部会 ..... 担当理事 高 橋 孝 ..... 8  
診療所部会 ..... 担当理事 西 島 康 之 ..... 9

**厚生連いわて情報誌「LIVE」より** ..... 会 長 及 川 忠 人 ..... 10

**岩手郡 学校・地域保健連携推進事業報告** ..... 塚谷医院 塚 谷 栄 紀 ..... 11  
 ..... 坂井医院 坂 井 博 誠 ..... 11  
 ..... 玉山岡本病院 岡 本 彰 ..... 12  
 ..... 成島整形外科 成 島 勝之助 ..... 13

### 第57回 岩手県医師会親睦野球大会 遠征記

医師会野球チーム ヘッドコーチ 三 善 悟 ..... 14

**会員の異動** ..... 16

### お 知 ら せ

平成17年度 緩和ケア・ホスピスケア医療研修会 ..... 16  
平成17年度 岩手県医師会臨時総会 ..... 16  
平成17年度 岩手県学校保健、学校医大会 ..... 16

**編 集 後 記** ..... 広報担当理事 紺 野 敏 昭 ..... 17

## 総会議事録

### 平成17年度 第1回通常総会議事録

総務担当理事 篠 村 達 雅

日 時：平成17年7月2日(土)  
午後4時  
場 所：ホテルメトロポリタン盛岡 本館  
出席者の確認：委任状を含め87名の参加であり、  
定款に定める定数を満たしたた  
め会の開催を宣言した。  
会長挨拶：及川忠人会長が挨拶した。

**[報告事項]**

1. 平成16年度 部会活動について各担当  
理事が報告した。

**[議 事]**

第1号議案：平成16年度 岩手郡医師会一  
般会計決算(案)について承認  
された。

第2号議案：平成16年度 岩手郡医師会休  
祭日当番医決算(案)について  
承認された。

第3号議案：平成16年度 岩手郡医師会特  
別会計決算(案)について承認  
された。

以上で議事を終了した。

### 特別講演 「平泉と源義経」



(財) 岩手県教育弘済会  
理事長 金野 静一

郷土にとって縁の深い源義経について、平  
泉とのかかわりを中心として歴史的、文化的  
な背景から非常に分かりやすくお話ししてい  
ただきました。

源義経は日本の歴史上初のアイドルである  
というさわりから始まった途端、会員一同メ  
モを取ることも、咳払いすることも忘れて引  
き込まれてしまいました。

お話の内容は多岐にわたり、めまぐるしく  
展開しました。思い出しながら内容の要旨を  
記載しようと試みましたが、ご講演の臨場感  
を再現することは不可能に思われ、また記載  
が不正確なものになってしまう可能性があり

ます。先生には多くの著作がありますのでご  
一読されることをお奨めします。そのほうが  
よりリアルに先生の歴史観、文化観、郷土に  
対する愛情を感じ取れると思われます。

**著作・論文**

1. 岩手の地名(歴史・地名・辞典) ……平凡社
2. 岩手の伝説……………角川書店
3. 岩手県の不思議辞典…………新人物往来社
4. 新・みちのく物語…………盛岡タイムス社
5. 義経紀行 上巻…………ツーワンライフ  
その他多数  
(紺野)

## 平成17年度 第1回通常総会挨拶要旨

会長 及川忠人

本日は、土曜日のご多忙のところを、多数ご出席を頂きまして、平成17年度第1回通常総会の開催が出来ますことを感謝申し上げます。岩手郡医師会長就任後2年度目の事業が、多くの諸先生のご支援ご協力により、順調に推移し、厳しい社会経済状況にもかかわらず、岩手郡医師会管轄地域の医療が確保され、それぞれの地域の諸先生方の日頃のご活躍ご努力に重ねて御礼申し上げます。

さて、平成18年(2006年)4月から、医療保険と介護保険の見直し改定法案が検討され先日、国会を通過し、ご承知の会員諸先生方も多いとは存じますが、新予防給付という新しい基準をめぐる準備が進んでおります。すでに宮古市管内で試行モデル事業が開始実施されており、この秋の11月から全市町村において、モデル事業が実施される予定です。

一方、地域ごとに在宅介護支援センターが様々な地域の介護保険に関わる支援やケアマネジメントを行って参りましたが、この介護保険の見直しによりこれまでの在宅介護支援センターを地域包括支援センターに改組しその機能を高め特化する方針であり、人員として主任ケアマネジャー、保健師、社会福祉士などが必要ですが、2年間の猶予をみて、地域の実情に併せ対応するようです。平成18年度からこの地域包括支援センターで新介護給付のケアプランの作成、種々の支援などの業務を行う予定のことです。

先日、県医師会総会でイラクに派遣された自衛隊の現場での活動報告についての特

別講演があり、イラクの現場と自衛隊の働きについてこれまでマスコミで知らされない側面を学び、感激を覚えました。日頃の日本の子供達に比べて物がなくても目の輝きがある光景に驚きました。また、これを機に医師会活動および地域医療は地域住民への国家安全保障の延長と考えて岩手郡医師会活動を活発化させる必要を痛感致した次第です。

さて5月20日に玉山村の郡医師会会員と、また6月24日には安代町・西根町・松尾村の郡医師会会員との合併を主体とした地域医療懇談会を開催致しました。合併に関わる様々な意見の交換を行い、地域における休祭日当番医制度についての今後のあり方などが話題となりました。いずれ50年ぶりの大合併で、現実には試行錯誤の状況であります。何とか迅速な対応と地域医師会会員のご意見を大切にして地域医療の質と量を保持する配慮をし、この課題に取り組んで参りたいと思います。

これまで医師会の目標をあまり、明確にお話しするゆとりがなかったのですが今後の目標は、第一には地域に貢献する医師会を目指すこと、そして第二には地域住民から信頼される医師会を目指すこと、そして第三には健康問題の啓発と医政活動に積極的に取り組む医師会を目指し、進んで行きたいと思いますので、岩手郡医師会会員諸先生方の尚一層のご指導ご鞭撻を重ねてお願い申し上げ、通常総会開催に際しての会長挨拶に替える次第です。本日は誠に有り難うございました。

## 総務会報告

担当理事 篠村達雅

### 平成17年度 第2回総務会

日 時：平成17年6月2日(木)

午後6時

場 所：ホテルメトロポリタン盛岡  
New Wing

出席者：及川忠人会長、高橋孝副会長、

西島康之副会長、柄内秀彦、

篠村達雅の各理事。

### 平成17年度 第3回総務会

日 時：平成17年7月27日(水)

午後6時半

場 所：ホテルメトロポリタン盛岡  
New Wing

出席者：及川忠人会長、高橋孝副会長、

西島康之副会長、柄内秀彦、

篠村達雅の各理事。

## 理事会議事録

総務担当理事 篠村達雅

### 平成17年度 第2回理事会議事録

日 時：平成17年6月10日(金)

午後6時半

場 所：ホテルメトロポリタン盛岡 本館

出席者：及川忠人会長、高橋孝副会長、  
西島康之副会長、飯島仁、  
上原充郎、紺野敏昭、篠村達雅、  
柄内秀彦、成島勝之助、三善悟の  
各理事。

#### 【会長挨拶】

及川忠人会長より挨拶があった。

【報告事項】(及川会長)

1. ケアマネジャー研修会(4月22日)について報告した。
2. 第3回岩手県医師会地域医療グランドデザイン策定委員会(5月13日)について報告した。
3. 地域医療懇談会(5月20日)について報告した。玉山村の医師会員と岩手郡医師会総務会が合併問題について意見交換を行った。
4. 平成17年度 第1回都市医師会長懇談会(6月4日)について報告した。

5. 岩手県医師連盟執行委員会（6月4日）の報告をした。
6. その他 日本脳炎の予防接種について報告した。

【その他】

1. 岩手郡医師会ホームページの公開について経過報告をした。

以上で議事を終了した。

【協議事項】

1. 岩手県医師会親睦野球大会（久慈・8月21日）参加申し込みについて承認した。
2. 平成 18 年度 岩手県医師会親睦野球大会開催準備委員会について検討した。
3. 平成 16 年度 岩手郡医師会一般会計決算（案）等について承認した。
4. 平成 17 年度岩手郡医師会第 1 回通常総会開催準備について承認した。



平成 17 年度 第 3 回理事会講事録

日 時：平成 17 年 8 月 18 日（木）  
午後 6 時半  
場 所：ホテルメトロポリタン盛岡 本館  
出席者：及川忠人会長、高橋孝副会長、  
西島康之副会長、飯島仁、  
岡田行生、上原充郎、紺野敏昭、  
佐々木久夫、篠村達雅、板内秀彦、  
成島勝之助、三善悟の各理事。

【会長挨拶】

及川忠人会長より挨拶があつた。

【報告事項】

1. 地域医療懇談会（安代、西根、松尾）（6月24日）について報告した。（及川忠人会長）
2. 第2回、第3回都市医師会長協議会（7月9日、8月6日）について報告した。（及川忠人会長）
3. 高速道路救急訓練（7月6日）について報告した。（篠村達雅理事）

4. 盛岡地域県立病院運営協議会（7月2日）について報告した。（高橋孝副会長）

【協議事項】

1. 平成 17 年度 社会保険医療担当者研修会（10月7日）について承認した。  
医療従事者だけではなく、医師会員の出席も必要。
2. 岩手県医師会親睦野球大会（8月21日）の参加日程などについて承認した。
3. 平成 18 年度 岩手県医師会親睦野球大会第 1 回準備委員会（8月9日）について承認した。
4. 岩手郡救急医療対策協議会開催（9月29日）について承認された。
5. 救急蘇生法講習会開催（9月27日）について承認された。  
実施場所：葛巻町
6. 地域町村民健康講座開催（11月19日）について承認された。  
実施場所：岩手町

7. 在宅ホスピスケア研修会要綱(11月26日)について承認された。
8. プライマリケア国試対策委員(地域医療に関する医師国家試験問題の検討)に紺野理事が推薦された。
9. 地域リハビリテーション広域支援センター研修会(8月27日・28日)の後援について承認された。
- 【その他】
1. 予防接種法施行令の一部改正について
  2. 日本医師会年金加入促進について
  3. インフルエンザ予防注射が10月より始まる、その前に勉強会が必要との提案(上原理事)があり、了承された。
- 以上で議事を終了した。

## 部会報告

### 広報部会

担当理事 栢内秀彦

1. 平成17年度 第1回岩手郡医師会  
会報編集委員会  
日 時: 平成17年6月20日(火)  
午後7時  
場 所: ホテルメトロポリタン盛岡 本館  
出席者: 及川忠人会長、栢内秀彦、  
紺野敏昭、成島勝之助の

各担当理事、植田修、秋濱朋子、  
山口淑子の各編集委員

【協議事項】

- 1) 平成17年度会報第1号No.81の校正、編集
- 2) 平成17年度会報第2号No.82の内容検討

### 勤務医部会

担当理事 高橋 孝

1. 平成17年度 盛岡地域県立病院運営協議会  
日 時: 平成17年7月22日(金)  
午後3時  
場 所: 県立中央病院4階ホール  
紫波病院、沼宮内病院、中央病院の順で運営状況、基本理念、展望を述べた。  
患者数の減少は共通していたが、紫波病院の診療所化に論議が集中した。玉田

医師会長、町長より慢性期の患者を受け入れる医療機関のことへの不安が述べられた。診療所2ヶ所の建設はどうかなど。しかし資金、運営、収益面で検討はするが難題のようであった。

沼宮内病院には患者数を増やしたらなどの質問があったが、岡田院長がていねいに答えていた。

## 学校医部会

担当理事 上原充郎

## 1. 第17回 東北学校保健・学校医大会

日 時：平成17年7月23日(土)・24日(日)

場 所：秋田ビューホテル

岩手県からは次の基調講演を行った。

「思春期教育におけるネットワークの重要性—『命』を感じることができるようにするため（赤ちゃんふれあい体験事業の立ち上げから）—」

岩手県医師会思春期保健対策委員会委員

秋元義弘

## 2. 平成17年度 岩手郡医師会活動テーマ

1) 人間の命(いのち)の大切さを認識させる教育

2) 他人の“いたみ”を感じとれる学童の育成

若年者による殺人、他人への危害があまりにも多いため新規にテーマとして掲げました。

## 地域医療部会

担当理事 篠村達雅

## 1. 岩手郡医師会 地域医療懇談会

日 時：平成17年6月24日(金)

場 所：ホテルメトロポリタン盛岡

New Wing

出席者：西根町、松尾村、安代町に事業所のある郡医師会会員

伊藤昭治、伊藤忠信、

小野寺英樹、佐藤誠、

玉川芳春、成島忠勝、藤井裕、

森茂雄、吉田雅美の各先生

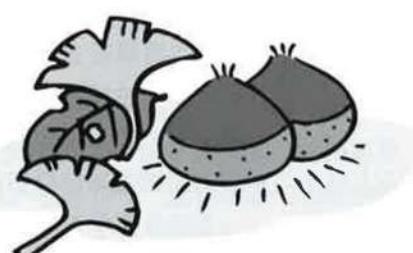
郡医師会役員：及川忠人会長、

高橋孝・西島康之両副会長、

柄内秀彦・篠村達雅の総務担当理事

平成17年9月1日、西根町、安代町、松尾村は合併し八幡平市となるが、3町村の会員は当分の間、岩手郡医師会会員のままで活動を継続する方向である。全国の市町村合併と郡市区医師会の動向および県内の状況の報告、地域医療システムへの課題の提案後、懇談に入った。

休祭日当番医などが話題となった。



## 医療保険部会

担当理事 佐々木 久夫

1. 県医師会雑誌6月号に「保険だより」の追加例25例が載っていますので熟読して下さい。

2. 本年10月に岩手郡全体を対象とした集団指導があります。医師会員及び事務職員の参加が必要です。

日 時：10月7日(金) 午後5時  
場 所：岩手県医師会館

## 生涯教育部会

担当理事 高橋 孝

1. 平成17年度 岩手県医師会 生涯教育委員会

日 時：平成17年6月14日(火)  
午後5時

場 所：岩手県医師会館

生涯教育制度は会員個人個人のためのものであり、医師免許の更新も含め生涯教育を受けることが医療事故を防ぐためにも大切な日本医師会の大きな事業であることと、平成15年度の生涯教育制度の申告率が全国平均71.4%に対して岩手県医師会の申告率は86.6%で日本一であったことが報告された。これは会員一人一人が自ら学び、講習を受けたこととなり、このことが日本医師会自浄化作用活性化委員会の委員長の膝元での快挙に意義あることとの、石川県医師会長の挨拶があった。

委員長に佐藤俊一 岩手医科大学学長、副委員長に利部輝雄 日赤病院院長、樋口絃 県立中央病院院長、増田友之 岩手医科大学教授が選出された。

続いて平成16年度生涯教育申告書集計中間報告があり、未だ締め切っていないので（6月17日）提出方を各委員の努力

を促された。個人情報保護法により個人個人の氏名は公表されなかつたが、どうして申告しない会員が多いのか、熱い討論があり、申告をしない会員はどのような医師会の会議・講習会にも出席しないのではないか、このような会員が医療事故を起こすのではないかと危惧する声が多くなった。とにかく医師会の会議、講習会に出席して、申告するように啓蒙が必要ではないかとの結論のように感じた。

次に協議に入り、医師国家試験問題作成について、議題があり、医師会長懇談会を経ての話だが、都市医師会において地域医療など是非出題したい、出題問題を考えたい、そのメンバーになりたい先生は会長より依頼があるかも知れませんのでご協力ください。

今年度も11月27日、17年度社会保険指導者講習会（わかりやすい免疫疾患）等、現代の医療水準とも言われている学会、講習会がありますので、出席して申告率を上げてください。16年度の申告率も岩手郡が悪いのではと心配しながら会場を後にした。

## 診療所部会

担当理事 西島康之

## 1. 第12回 岩手県医師会 診療所部会幹事会

日 時：平成17年7月2日(土)

午後2時半

場 所：岩手県医師会館

## 【協議事項】

1) 平成17年度有床診療所協議会事業計画

(1) 有床診療所の経営並びに施設改善の向上

(2) 研修会、講演会、総会の開催

(3) 医療保険制度、介護保険制度における有床診療所のあり方の研究

(4) 全国及び各協議会との交流、情報交換

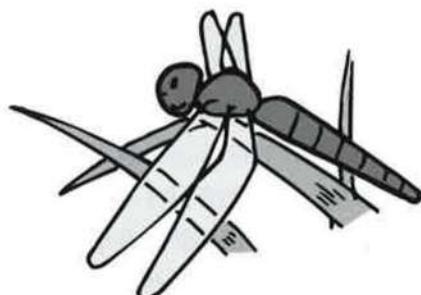
2) 有床診療所の一般病床についての提言

(1) いわゆる48時間（医療法13条）問題について…在院期間は規定しない。

(2) 医師に関する規定…開設者たる常勤医師1人とする。なお緊急時や医師不在時不測の事態に対応する

協力医を置く。

(3) 看護職員に関する規定…患者の安全に対応するために、看護職員の配置を義務付ける。

(4) 構造設備基準について…病床面積は患者1人に当たり6.4m<sup>2</sup>とし、廊下幅については片廊下1.8m、中廊下2.7mとする。（新築・全改築の場合）

みんなの **いわて** を  
医 協  
ご利用ねがいます

医療用品カタログ通販 5,000品目満載 最大89%引き

医用印刷物・医療機器・医療事務機器・衛生材料等々・保険事業・医療廃棄物処理事業(収集から各種報告書作成まで)・福利厚生事業・労働保険事務代行事業

**TEL.019-626-3880**専用 **0120-054-222****FAX.019-626-3883**URL <http://www.ginga.or.jp/isikyo>E-mail [isikyo@rose.ocn.ne.jp](mailto:isikyo@rose.ocn.ne.jp)**いわて医師協同組合**

IWATE MEDICAL COOPERATIVE ASSOCIATION

〒020-0024 盛岡市菜園二丁目8番20号 岩手県医師会館内

## すこやか情報～厚生連いわて「LIVE」より～

### 「廃用症候とは何か」

岩手郡医師会 会長  
及川忠人

廃用症候とは聞きなれない言葉ですが、字句の示すように、「使用することを廃止する」ことで、不活発な生活や過度の安静で起きる、全身のあらゆる器官・機能に生じる「人間の心身機能の低下」を意味しております。それは起こる場所により大きく三つの種類に分けられます。

すなわち第一は、関節の拘縮、筋力の低下、骨萎縮等の体の末梢部に起こる局所性廃用症候です。第二には、心肺機能低下、起立性低血压、易疲労性、消化器機能低下等の全身性廃用症候であります。さらに第三は精神・神経性廃用症候と呼ばれるもので知的活動低下、うつ傾向、自律神経不安定等がそれに相当致します。廃用症候群とはそれらの集合した症状を表すものであり、不活発な生活や過度の安静が広範な心身の機能低下を生じさせるものなのです。

十数年前にソユーズ宇宙船に約10日間乗り、宇宙旅行したTBSの秋山氏は、その体験を盛岡での講演で次のように話しております。すなわち10日間の宇宙飛行のあと、地球にもどって来たが、その着地時点では歩行が不可能となっていたので、宇宙訓練センターで約2週間の筋肉運動を中心としたトレーニングを受け、リハビリテーションの後に歩行が可能となり、日本に帰ることが出来たという話であります。このことは、日常生活で誰もが体験することですが、風邪等で数日休んだ後に起き上がって歩いてみると「ふらふら」することを自覚することは、そのことがすでに廃用症候の

傾向にある徵（しるし）であることに気づくことが大切です。

年齢を問わず、誰もが臥床してばかりいて運動をしないでいると丁度宇宙船の中の無重力の状態に置かれていると同じように、全身の筋肉に重力が掛からないために1日に約3%の筋力が低下することがわかっています。したがって、たった1週間を寝込んで運動を怠ると簡単に全身筋力の約20%の筋力が低下することになり、さらにその間、尿中に骨からカルシウムが沢山排出されて、骨萎縮という病態になり、家の中での転倒でも簡単に骨折してしまい易い状態になります。

「年のせい」で起こるとする運動機能の低下はむしろ心理的な思い込みにより日常生活における運動を積極的に行わないために起こる「廃用症候」によることが分って参りました。これらの病態は人体が重力により支配され、外界からの刺激を五感で捉え応答し、さらに使わなければ退化するという原則を示しているのです。

生活の中に運動を取り入れるばかりでなく、趣味や社会活動への参加が大切であり、健康を保持することは自分で健康を求めてゴールを目指す航海に似ていると考えるべきであります。健康増進と疾病予防が表裏一体であることに注意しながら、日常生活を見直すことが重要であります。

すこやか情報厚生連いわて  
「LIVE」2005年3月第210号より転載

## 岩手郡医師会 学校・地域保健連携推進事業

### 1. 「10歳代の性衝動と性行為感染症」

塙谷医院（産婦人科） 塙 谷 栄 紀

日 時：平成17年7月4日(月)

場 所：巻堀中学校（玉山村）

対 象：父兄約30名

- ・第二次性徴とはどんなものか
  - ・性行為感染症にはどんなものがあるか
  - ・10歳代の人工中絶の実態
  - ・親の対処はありや、なしや
- こんな順序で話をいたしました。

眼目はクラミジア感染症といたしました。20～24歳の女性の16人に1人は罹患している。爆発的に増加していること。なぜか。まずは自覚症状が男女ともにはつきりしない。女性の8割が感染に気づかないため、余程のことがないと受けない検査は受

けない。また近年はオーラルセックスによる感染が多くなっている。咽頭に感染していても症状がないぶんだけ感染に歯止めがかからない。女性の痴痛、昔は胆石、今はフィツツ (Fitz-Hugh-Curtis)。

親の対処はどうするか。「私がよくて、相手が満足し、誰にも迷惑をかけない。Sexはなぜわるい」といわれたら、どう反論するか。ひとこと「バカ」といえない時代になったので、親は四苦八苦する。

子供の下着が派手になったら。財布に一万以上の金が入っていたら。ブランド物を身につけ始めたら要注意。

こんなぐあいに話してまいりました。

### 2. 「男女交際の落とし穴」

坂井医院（産婦人科） 坂 井 博 稔

日 時：平成17年7月8日(金)

場 所：零石中学校（零石町）

対 象：零石中学校生徒

夏休みをひかえ、充実した中学校生活を送っていただくため、そして無知識からくる性の被害から皆さん達を守るために、生命の神秘性、性行為の必要性と重要性を、地球と人類の発達進化から解説したい。

男女交際は人間にとつて必要欠くべからざる行為である。しかし時に大きな落とし穴に落ち、悲劇を生むことがある。性の前傾現象に伴う青少年の性にまつわる悲劇は、

多くは5つの落とし穴に落ちることにはじまる私と考える。

第1は青少年男女の接近欲の違いである。性ホルモンの発達により、男女共に小学校高学年から、女子は月経が始まり、男子は精通現象が始まる。この頃から異性への接近欲が始まるが、男子は接近欲と同時に性交欲が伴うのに対して、女子には性交欲はない。体は大人であっても、欲望を制動出来ない、この男女接近欲の違いから、望まぬ妊娠という落とし穴に落ちて悲劇となることがある。

第2の落とし穴は、人間の感覚麻痺ともいるべき落とし穴である。人間の感覚は同じ強さの刺激に対し、麻痺し反応せず更に強い刺激を求めるという落とし穴がある。最初は顔を見るだけでよかつたものが、次第にエスカレートABCDと進行して性行為まで進行してしまう落とし穴である。そして望まぬ妊娠をしてしまう。

第3の落とし穴は外性器の知覚神経終末、陰部小体の落とし穴である。人間の外性器には陰部小体という知覚神経終末があり、この形態は球状であるため、摩擦や圧迫によって興奮し、最後のエクスタシーまで求めてしまう危険性があり、心の制動が麻痺し悲劇となる。このように陰部小体の異常にによる痴漢、強姦は後をたたない。

第4の落とし穴は、性格異常者、精神病者、覚醒剤や麻薬中毒患者、性染色体異常者などによる婦女暴行殺人者など、正常でない人も、同じコミュニティーの中で生活している。夜道の一人歩きは危険という落とし穴である。被害者は弱き女性である。

第5は性行為感染症という落とし穴である。夫婦以外の不特定多数の人との性行為を行うと、クラミジア感染症、淋病、梅毒、ヘルペス、尖形コンジローマ、B型およびC型肝炎、エイズウイルス感染症など天罰とも言うべき疾病の落とし穴である。最近青

少年の性行為感染症が日本でも増加傾向にあり大きな社会問題となっている。これから身を守るため、各疾患の症状や病態をスライドで示した。特にエイズに関しては生命に拘る恐ろしい病気ではあるが、正常な日常生活では感染しないことから正しい知識で対処し、エイズ患者への偏見や、過剰な恐怖を持たないことなどを説明した。

これら性の被害者が小・中学生の場合、加害者の多くは成人であり、これら非常識な大人が後をたたない現状で、子供達を性的被害から守るためにには、子供達に正しい性的知識を教え、先生や父母そして校医が力を合わせ努力する以外に道はないと思う。

望まぬ、責任の取れない妊娠は絶対しないこと。不幸にして妊娠するかもしれない性行為が行われた時には、緊急避妊のために72時間以内に産婦人科を訪れること、性感染症が心配な性行為が行われたときには、出来るだけ早く産婦人科や泌尿器科で診察を受けることなどを解説した。

最後に一つの生命の誕生の神秘性と確率を考えるとき、一つ一つの生命がどんなに大切か、自分の生命と同様、他の人の生命もどれ程大切かを解ってほしい。自由の裏には責任と義務があることを再認識してほしい。

### 3. 「親子健康相談」

玉山岡本病院（精神科） 岡 本 彰

日 時：平成17年7月13日(水)  
午後1時半～3時半  
場 所：大更中学校（西根町）校長室  
対 象：児童の母、担任教師、学年担任  
教師、保健室担当養護教師

対象児童は、当校4年在学中の9歳の女子で、幼稚園児の頃より登園を嫌がっていたとのことです。現在は午前11時頃母親が自家用車で登校させて、保健室にいて、給食後午後1時頃母と帰宅するという生活を

送っているそうです。父、母、姉（高校2年生）の4人暮らしで、学校より約3km離れたアパートに生活しているとのことです。

入学時より3年までは、担任教師の他にヘルパー教師が1人付いて、集団生活になじむように個人指導をしていたようですが、4年になってヘルパー教師がいなくなつたこと（教育委員会の方針？）が母親には不

満、不安のもとになっているようです。

とにかく一般教室での教育にもどして、その時生じた問題に一つ一つ対応していくようにお願いしましたが、母親が納得したかは不明です。3人の教師ともこの春よりの担当で困っているようでした。対象児童が同席していなかったので問診などはできませんでした。

#### 4. 「スポーツ外傷の応急処置」

成島整形外科医院（整形外科） 成島 勝之助

日 時：平成17年8月4日（木）

午後1時半～4時

場 所：葛巻交流館 プラトー（葛巻町）

対 象：養護教諭11名

養護教諭の先生方の希望により、実際的なスポーツ外傷の応急処置についてお話しをしてきました。

その後に、先生方にお互いにギプスを装着したりアルフェンスシーネをつけたりしてもらい、現場での対応に即した内容としました。

最近の話題として、サプリメントについての理解を深めていただきました。

最初はお互いに緊張していましたが、次第に慣れてきて、最後にはたくさんの質問をしていただき、出来る限りお答えしてきました。

#### 【内 容】

- 1) スポーツ外傷の応急処置（RICE処置）
- 2) よくあるスポーツ外傷
  - (1) 足関節捻挫
  - (2) 肉離れ
  - (3) 膝十字韌帯損傷

3) よくあるスポーツ障害

(1) オスグッド病

(2) 腰椎分離症

4) 副木の当てかた

(1) アルフェンスシーネ

(2) ソフラットシーネ

(3) ギプスシーネ

5) テーピングの仕方

6) 挫創、裂傷の手当て。消毒薬の使い方。

7) 代替療法について

(1) 代替療法の種類

(2) 健康食品について



行事  
報告

# 第57回岩手県医師会 親睦野球大会・遠征記

医師会野球チーム ヘッドコーチ 三 善 悟

日 時：平成17年8月21日(日)

開催地：久慈市

担 当：久慈医師会

8月20日(土)午後3時、高橋牧之介前会長宅前より及川会長始め、柄内、大津、立本、植田の諸先生で乗車出発。国道4号好摩口で三善乗車、葛巻で西島、高橋克郎両先生が乗る。

5時半頃、久慈第一ホテルに到着（他に北上、一闋も泊まっていた）。

6時半には近くの割烹「弥次喜多」で作戦会議と夕食。生うに、めかぶに始まり海の幸を食べながら、ホテルで合流した上原、秋濱、金井の諸先生にもコピーしたメンバー表を渡し、ボールは振らないこと、次の墨へ向かうこと、その他のサインは一切なしとした。

久慈医師会より銘酒「福来」の差し入れがあり、盛り上がりつつある所へ石川県医師会長直々に来訪され、今回の選挙、殊に2区の事など話され、又次の会場へ向かった

様でした。

8月21日(日)幸い天気にも恵まれ久慈市営球場へ。

7時50分開会式。小久慈小鼓笛隊、久慈中吹奏楽の演奏で入場行進。22チームの出場でした。国旗並びに医師会旗掲揚、石川会長より挨拶。優勝旗返還、大会実行委員長久慈医師会小林会長挨拶、来賓祝辞、山内久慈市長（キビキビして気持ち良かった）。セレモニーは更に選手宣誓、永年選手表彰、代表として45回出場青木選手（久慈）。次期開催地岩手郡及川会長の挨拶と進み審判長挨拶、当番医師会より連絡事項、閉会の辞で終了。日の照る中グラウンドに立ちっ放しも年のせいか大変でした。

9時試合開始。（久慈高校）

県立中央病院B 対 遠野医師会

中央病院が勝ち、岩手郡チームの相手と決まる。

10時 対 中央病院Bチーム

岩手郡先攻で一回は〇（相手投手25才）。県中一回トップバッター（相手投手）三遊



間ヒットですぐ二・三塁と盗塁。捕逸で1点。

二回表、岩手郡高橋（克）への四球で出、すぐ二・三塁、秋濱の三ゴロで還り同点となつた。

二回裏、ヒット1本、デッドボールにエラーが絡み4点とられ、三回裏三者凡退。45分以降新しいイニングに入らないとするルールで残念ながら5x-1で敗退。

時間の経つの早いこと。盗塁のルールが変わったことなどすっきりしない敗戦で残念この上なし。

岩手郡 ヒット0 盗塁5

県中B ヒット2 盗塁7

この他岩手郡チームにはエラーが目立つたが、矢張り朝早く車で来て試合では大変だと思います。

試合前からソフトボールルールで盗塁を規制しないことには20才台の選手とではゲームにならない。ランナー（ヒットでも四死球でも）が出ればサードまでフリーなら面白味も半減する。益々高齢化するのは目に見えているので県医でも考えて欲しいと敢えて提言したい。

入浴は一回戦負けなので新しい湯を浴び、懇親会場へ。自家用車で参加された先生方が懇親会欠席というのも非常に申し訳なく思っています。佐々木（久）先生に全員出場にしないと言われたのに、時間切れの形で準備していた木村、金井両先生に出場のチャンスなく、これまた申し訳ありません。

来年58回大会は岩手郡が開催地なので、主会場となる零石町の先生方は大変だと思うし、いつもならすぐ帰る懇親会も終

わりまで残り色々視察していた様で、ご苦労様でした。

昨年のメンバーから嶋（盛岡市医Bチーム）、久保谷両先生を欠き、次のメンバーで戦いました。

打順	シート	氏名	所属
1	右	植田 修	植田内科
2	一	大津 友見	県立沼宮内
3	捕	薄井 知道	鶯宿温泉病院
4	遊	成島勝之助	成島整形
5	投	清水 光昭	渋民中央病院
6	三	高橋 克郎	葛巻病院
7	中	坂本 文明	岡本病院
8	左	秋濱 玄	秋浜内科
9	二	立本 仁	立本整形

控え選手 及川、西島、佐々木（久）、上原木村、篠村、柄内、金井、三善

ご家族の応援も沢山いらっしゃいました。



バッター 3番 薄井先生

## 会員の異動

### ◎退会会員

小時田宏介	安代町 あしろ苑	→ 盛岡市医師会へ	平成17年7月31日付
千葉 俊明	西根町 西根病院	→ 盛岡市医師会へ	平成17年7月31日付

### ◎施設異動

伊藤 浩信	滝沢村 滝沢中央病院	→ あしろ苑へ	平成17年8月1日付
-------	------------	---------	------------

### ◎会員区分の変更

秋濱 玄	玉山村 秋浜内科クリニック	B会員	→ A1会員へ	平成17年6月1日付
------	---------------	-----	---------	------------

## お知らせ

### 平成17年度 緩和ケア・ホスピスケア医療研修会

1. 日 時 平成17年11月26日(土)  
午後2時半～5時半
2. 場 所 ホテルメトロポリタン盛岡 New Wing
3. 対 象 岩手郡医師会および近隣医師会の医師会員および医療関係職種
4. 講 演
 

講演 1	講師 県立中央病院消化器外科 望月 泉 部長 題目 「当院における緩和ケアの取り組み－医療連携を中心に－」
講演 2	講師 京都府立医大 中島健二 名誉教授 題目 「チーム医療のすすめ－21世紀のわが国の医療－」

主催／岩手郡医師会

### 平成17年度 岩手郡医師会臨時総会

1. 日 時 平成17年11月26日(土)  
午後6時
2. 場 所 ホテルメトロポリタン盛岡 New Wing

詳細については後日はがきにてご連絡致します。

### 平成17年度 岩手県学校保健・学校医大会

1. 日 時 平成18年1月15日(土)
2. 場 所 岩手県医師会館

## 編集後記

今年の夏は暑さも厳しく、会員の皆様におかれましては日頃の診療の疲れもなかなか回復し難い状況かと拝察いたします。カメムシの大量発生の予測も出されております。また8月16日には大きな地震もありましたが、被害はございませんでしたか？

今回も成島先生のご尽力で岩手郡医報は予定通り発刊に漕ぎ着けました。岩手郡医報の題字を見ていますが、どのようにしたらこのような伸びやかで、力強く、しかも優しさの滲み出る字が書けるのか。書いてみたいと考え真似てはみますが、自分の字に失望するばかりです。

書は何とかを表すなどとも言われますので、自分の欠点をなんとか字で隠せないものかと安易に考えていますが、「所詮それはそもそも発想が逆で、人間修行が先！！」と空海に一喝されることであります。お盆を過ぎてなお酷暑が続くうちに秋の虫の合唱が聴こえるようになりましたが、秋の気配が深まるのを待たずに悩み、煩惱は深まるばかりです。

昨夕、娘がコンクリート堀と喧嘩して車を大破してしまいました。暑さで判断が鈍ったと言っています。

皆様、暑さのせいで脳がオーバーヒートしていませんか？  
(紺野)

岩手郡医報：No.82／2005年9月発行

発 行：社団法人 岩手郡医師会

発行責任者：岩手郡医師会会长 及川忠人

事務局：〒028-7303 八幡平市柏台二丁目

8番2号東八幡平病院内

電話 0195-78-2607

FAX 0195-78-2555

<http://www.iwategun-med.or.jp>

印 刷：(株)吉田印刷